SUSTAINABLE BEAUTY FES

サステナビューティーフェス2026 環境インパクトレポート

INDEX

サステナビューティーフェス2026
環境インパクトレポート

SUSTAINABLE BEAUTY FES

MINDFUL CHOICES,
BEAUTIFUL DAYS

01 ABOUT US

04 PRODUCER

07 CONCEPT

10 VENUE & ARTISTS

15 OFFICIAL GOODS

22 SUSTAINABLE FOOD & SHOP

30 EXPERIENCE DESIGN

33 SUSTAINABLE IMPACT REPORT

48 MEDIA REPORT

52 SPONSORS

58 VOICES FROM EVERYONE



ABOUT US

ABOUT US

サステナビューティーについて

サステナビューティーとは

レトロワグラースが大切にしているのは、
"サステナブル＝難しい"という固定観念を超えた新しい美しさのかたち。心惹かれるのは、「素敵！」「試してみたい！」という純粋なときめき。

手に取ったそのひとつが実は環境にやさしくつくられていたと知った時、
日常が少し誇らしく、豊かになる。
サステナブルは義務ではなく、自然に続いていく美しさの選択。

軽やかで洗練された体験を楽しみながら、
気づけば未来へつながる一歩を踏み出している。
それが、レトロワグラースの考えるサステナビューティー。
「サステナブルだから選ぶ」のではなく、
「選びたいと思ったものが、実はサステナブルだった」。
その気づきが、日常に美しさと誇らしさを添えてくれることを願っています。

SUSTAINABLE BEAUTY

サステナビューティー公式ロゴ

サステナビューティープロジェクト

レトロワグラース株式会社では、「持続可能な調和社会の実現」に向け、「サステナビューティープロジェクト」の一環としてファッション、ビューティー、食品など多様な企業とのタイアップを実現し、環境と人の両方にやさしいプロダクトや企画を発信してまいりました。

Discover Sustainable Beauty
https://lestroisgraces.com/les-trois-mind/

ABOUT US

サステナビューティーフェスとは?

SUSTAINABLE BEAUTY FES

サステナビューティーフェス

「SUSTAINABLE BEAUTY FES」は、レトロワグラースが提唱する
「サステナビューティー」の思想から生まれたフェスティバルです。
雄大な富士山の麓、自然と調和する河口湖ステラシアターを舞台に、
「楽しいから、はじめよう」をコンセプトに開催。
音楽・食・ファッション・自然との出会いを通して、
五感を満たす体験が、気づけば未来をみがく新しい選択へとつながる
――そんなサステナビューティーの世界観を体現するフェスティバルです。

Visit Our World
https://sustainabeauty.jp




PRODUCER
プロデューサーたちによるサステナビューティーフェス下見の様子をYouTubeで見る
YouTube

EXECUTIVE PRODUCER

総合プロデューサー

SUSTAINABLE BEAUTY FES

総合プロデューサー 柴咲コウ

「楽しいから、はじめよう」をスローガンにサステナビューティーフェスの初開催という一歩を踏み出すことができました。「楽しい、だから始めてみよう」「楽しい！というところから始めてみよう」という二つの意味を込めたコンセプトが、実際に来場していただいた皆さんに音楽や出展を通じて体感してもらえたようで嬉しいです。参加してくださる方に「ごみを削減したり環境負荷を減らすために何かを強いる」のではなく、参加する一人としての気づきや発見を感じてもらえたのではないかと思います。共創パートナーとして様々ご尽力していただいた龍谷大学は、私たちの目指す姿の直感的・感覚的思考を、計測や分析といった左脳的視点からサポートしていただき、抽象的になりがちな持続可能ポイントを支えていただきました。目の前がクリーンで美しかったり、ごみを出す罪悪感を減らしたり。その場の調和がとれていて「美味しい」「心地よい」という体感を通じてポジティブなきっかけを持ち帰ってもらえていたら幸いです。

Profile

俳優・アーティスト・レトロワグラース代表。2018年より環境省「環境特別広報大使」を務めるなど、持続可能な社会の実現に向けた活動を継続。2016年にレトロワグラース株式会社を設立し、衣・食・住を通じてサステナブルなライフスタイルを提案。「SUSTAINABLE BEAUTY」を提唱し、環境と人が調和する未来づくりに取り組んでいる。

https://koshibasaki.com/



SUSTAINABLE PRODUCER

サステナブル プロデューサー

SUSTAINABLE BEAUTY FES

サステナブル プロデューサー 深本南

総合プロデューサーが掲げるコンセプト「楽しいから、はじめよう」を体現するため、音楽を楽しみ、美味しいものを食べ、河口湖の豊かな自然に触れる。その一つひとつの体験が、気づけばエシカルな選択につながる。そんなサステナブルな運営を設計しました。20代から音楽フェスの環境対策に携わってきましたが、近年は社会課題を解決する多様なソリューションが次々と生まれ、それらを一つの場で実装できる時代になりました。サステナブルな未来を本気で描く企業や団体が集結し、そして何より、サステナビューティーフェスの想いに共感してくださったアーティストやフード・ショップの皆さん、フェスに期待を寄せてくださった来場者の皆さんの想いが重なり、このイベントを実現することができました。今回の共創を通して、このフェスにはまだまだ大きな可能性があることを実感しています。まだ見ぬソリューションや新たな企業・団体との出会いが、ワクワクする未来をさらに大きく描き、ともに美しい社会変革を生み出していけるイベントになると確信しています。

Profile

社会起業家。2020年にサステナブルメディア「ELEMINIST」を立ち上げ、2026年には、サステナビリティを起点に企業の事業成長を支援するカンパニー「eleventh hour」を設立。生活者の価値観を捉えた戦略設計から、商品・サービス開発、ブランド構築、コミュニケーションまでを一貫してプロデュースし、共感を行動変容へとつなげるプロジェクトを数多く手がけている。

https://eleventhhour.jp




CONCERT

CONCEPT

コンセプト / サステナブルポリシー

「楽しいから、はじめよう」

音楽に、心をゆらす。笑顔を呼ぶフードや、心躍るファッションに五感が満たされていく。みんなで思いっきり楽しむその時間が、気づけば「明日をみがく新しい選択」へと結びつく。それは、無理なく始まる新しいフェスの形。人が心から喜びを感じるエネルギーを、そのまま美しい地球の未来へとつなげていこう。「楽しい」からはじめれば、きっとつながる。

サステナブルポリシー

サステナビューティーフェスでは、「楽しいから、はじめよう。」をコンセプトに、サステナビリティを“我慢”や“制限”ではなく、心が動く体験として届けることを目指しています。

その実現のために、イベント全体を貫く4つのポリシーを策定し、企画・運営・会場設計に反映。来場者が楽しみながら自然と環境や社会に配慮した選択につながる仕組みを取り入れ、一つひとつの体験が未来のアクションにつながるイベントを実施しました。

SUSTAINABLE POLICY



体験としてのサステナブルデザイン
Experience Design
制限ではなく、ときめきと体験価値から
自然に選ばれる設計思想



食からはじまるサステナビリティ
Sustainable Food
美味しさを軸に、人・地球・動物に
配慮した食材と、リユース前提の提供



資源循環とローウェイスト
Low Waste
会場に出る資源とゴミを可視化し、
可能な限り循環させる運営方針



カーボンオフセットと環境への還元
Carbon Offset
会場への移動や資材輸送、資源・ごみ
処理に伴うCO_2排出量を算定しオフセット

CONCEPT

キービジュアル

LIGHTING THE WORLD WITH SPARKS

河口湖ステラシアターから望む富士山を象徴的な中心に据え、フェスから生まれる“ときめき”が音楽とともに世界へ広がる様子を描いています。一人ひとりの小さなときめきが、周囲や社会へと広がる“楽しいからはじまる美しさ”の連鎖を表現しました。カラーはピンクとグリーンを基調に、POPで明るく、生命力あふれる世界観を表現。「楽しいから、はじめよう」というメッセージとともに、軽やかでポジティブな未来への想いを込めています。

Key Visual Designed by ConcePione

ブランド戦略からコンセプト設計、ビジュアルデザインまで一貫して手がけるクリエイティブカンパニー。代表の一法師拓門氏は、国内外のファッションブランドでデザイナーとして経験を積んだ後に独立し、現在は企業やブランドのクリエイティブディレクション、ブランディングを数多く手がけています。

https://concepione.com





VENUE&ARTISTS

VENUE

サステナビューティーフェス会場

KAWAGUCHIKO STELLAR THEATER

サステナビューティーフェスの会場に選んだのは、山梨県・富士河口湖町にある河口湖ステラシアター。雄大な富士山を望む自然豊かなロケーションに佇む、周囲の景観と調和する半屋外型の歴史ある円形劇場です。

「楽しいから、はじめよう」という、サステナビューティーフェスのコンセプトを体現するためには、音楽やアート、自然が一体となれる場所選びが何よりも大切なこだわりでした。特徴である開閉式の全天候型屋根のおかげで、肌で風を感じたり、鳥のさえずりに耳を澄ませたり、空の移ろいを目で捉えたりと、自然の美しさを五感で感じることができました。

すり鉢状の客席はどこからでもステージを近くに感じることができ、ステージを覆うように高くせり上がった構造が、会場をひとつに盛り上げました。アーティストとお客様が近い距離で響き合いながらエネルギーをぶつけ合う。人と地球の未来を考えるきっかけの場所として、ふさわしい会場となりました。

https://stellartheater.jp



ARTISTS
出演アーティスト

2026年5月23日 (土)

14:00–14:10　OPENING ACT｜柴咲コウ × REO MATSUMOTO
14:10–14:40　LITTLE（KICK THE CAN CREW）
15:10–15:40　AI
15:40–16:00『柴咲コウのオールナイトニッポンGOLD
～サステナビューティーRADIO～
supported by アサヒ ゴールド』公開収録
16:10–16:40　MS.OOJA
17:00–17:30　家入レオ
17:50–18:30　川崎鷹也
18:30–18:40　HAPPY GOLD HOUR ～KANPAI CORNER～

2026年5月24日 (日)

14:00–14:10　OPENING ACT｜柴咲コウ × REO MATSUMOTO
14:10–14:40　MORISAKI WIN（森崎ウィン）
15:20–15:50　ナオト・インティライミ
16:20–16:50　山本彩
17:05–17:35　miwa
17:50–18:30　柴咲コウ
18:30–18:40　HAPPY GOLD HOUR ～KANPAI CORNER～



柴咲コウ「サステナビューティーフェス」ライブレポートが到着 | USENの音楽情報サイト「encore（アンコール）」

柴咲コウが総合プロデューサーを務める新しい音楽フェス「サステナビューティーフェス」が5月23日（土）·24日（日）の２日間にわたって、山梨県·河口湖ステラシアターで開催された

encore_inf

サステナビューティーフェス・ライブレポートを読む



OFFICIAL GOODS

OFFICIAL GOODS

アップサイクル オフィシャルグッズ

UPCYCLE OFFICIAL GOODS

一般的なコンサートやフェスで使用された舞台幕や横断幕は、イベント終了後に役目を終え、廃棄されることが少なくありません。サステナビューティーフェスでは、アップサイクルすることを前提にキービジュアルを制作する「サーキュラーデザイン」の考え方を取り入れ、舞台幕や横断幕を制作しました。

デザイン段階からバッグやサコッシュなどへの展開を全柄シミュレーションし、余ったパーツも富士山型のチャームとして活用するなど、可能な限り廃棄物を出さない設計を実現。会場では、舞台幕がどのようなアイテムへ生まれ変わるのかを体感できるシミュレーションを用意しました。来場者自身がパーツを選び、自分だけのアップサイクルアイテムをオーダーできる仕組みとし、完成したアイテムは後日お届け。

フェスの思い出を日常の中で長く愛用できるアップサイクル オフィシャルグッズとして、新たな価値を生み出しました。







アップサイクル・ブースでは、舞台幕のグラフィックと共に、バッグ、サコッシュ、キーチャームをディスプレイ。バッグはハートや富士山をモチーフにしたキーチャームをつけ、極限まで資材を活用。バッグの内側に取り付け可能な金具が付いているので、別売りのサコッシュをバッグインバッグとして取り付けることができる。



あらかじめ舞台幕のパーツごとに番号が振り分けられているので、柄や番号など感覚的にチョイス。選んだパーツが実際にアイテムになった時にどのように見えるのかがわかるように、テント内に設けられたグラフィックエリアで完成後のシミュレーションが確認できる仕組み。発注から2週間を目安に順次お届け。フェスでの思い出が形になるだけでなく、現場の臨場感をそのまま詰め込んだアイテムを、世界にひとつしかない特別な存在として手元に残すことができる。

OFFICIAL GOODS

VIP限定特典

OFFICIAL GOODS FOR VIP

レトロワグラースでは、サステナビューティーフェスの総合プロデューサー・柴咲コウの過去のライブツアーで使用された舞台美術や装飾資材を、できる限り廃棄することなく大切に保管し、新たな価値を持つアイテムへと生まれ変わらせるアップサイクルの取り組みを続けています。これまでも、ライブツアーで使用した素材をアクセサリーへと仕立て直し、販売してきました。
今回のサステナビューティーフェスでは、2024年の「響宴」ツアーと、2025年の「邂逅」ツアーで実際に使用された舞台幕を、風呂敷へとアップサイクル。サステナブルなトラベルキットとVIP限定リストバンドを包み、VIPシートへご来場いただいた皆さまに、特別なギフトとしてお贈りしました。

一度役目を終えた素材に、新たな命を吹き込む。

ライブの記憶や思い出とともに長く使い続けられるアイテムとして、
未来へとつないでいきます。



2024年に開催された「KO SHIBASAKI LIVE TOUR 2024 ACTOR'S THE BEST ～響宴～」、そして翌2025年の「KO SHIBASAKI LIVE TOUR 2025 ACTOR'S THE BEST ～邂逅～」で使用されたディスプレイや小道具を、オークションやアップサイクルによって再利用。



VIPセットの中には、有機フッ素化合物など不要な化学物質を加えず医師が開発した「HUMBLE BRUSH」、100%天然由来成分のみで作られた「Davids」の歯磨き粉、人体への影響や地球の環境保全にも配慮した製造工程「有機精練」で地下水を汲み上げ、使用後は生分解により生物や環境に無害な状態で自然に還すなどを徹底する「ツバメタオル」のタオルをセットに。

OFFICIAL GOODS
オフィシャルグッズ

OFFICIAL GOODS

会場ではサステナビューティーフェスのキービジュアルをモチーフにしたオリジナルグッズを販売しました。オーガニックコットンTシャツや今治マフラータオル、アップサイクルな糸を使用したソックスなど環境や社会に配慮し、サステナビリティとデザイン性にこだわった「使い続けたくなるもの」を厳選。

フェス終了後には、オンラインストアでも販売を行い、来場できなかった方にもフェスの思い出を共有し、日常の中でもサステナブルな選択を楽しんでいただける取り組みを実施しました。

Discover Sustainable Goods
https://sustainabeauty.jp/2026/goods/



OFFICIAL GOODS
オフィシャルグッズ



再生アクリルキーホルダー
￥700

フェスのキービジュアルを、環境に配慮した再生素材のアクリルに閉じ込めたキーチャーム。

商品を見る



ステッカー
￥500

フェスのキービジュアルに日付を刻んだ限定デザインのステッカー。製造時のCO_2排出量が実質ゼロの取り組みを行う印刷工場で製造。

商品を見る



オーガニックコットンTシャツ
￥5,000

フロントにキービジュアルをプリントしたTシャツ。地球環境にやさしいオーガニックコットン100%、無染色ならではのナチュラルな質感が特徴。

商品を見る

OFFICIAL GOODS
オフィシャルグッズ



今治マフラータオル
￥4,000

今治産の上質なコットンを使用したマフラータオル。

商品を見る



トートバッグ (コスメ付き)
￥3,500

株式会社 明治とのコラボレーションによって完成したトートバッグは、チョコレートの製造過程で出るカカオの皮で染めたもの。

商品を見る



リサイクルリブソックス
￥2,500（2色展開）

靴下の製造工程で発生するB品や端材をワタに戻してリサイクル。再生糸を使った未染色リブソックス。

商品を見る



SUSTAINABLE FOOD & SHOP

SUSTAINABLE FOOD

フェス出店フード＆ドリンク

「美味しさ」のその先へ

美味しいから、選びたくなる。
思わず笑顔になる一皿が、実はサステナブルだった。

そんな体験を届けたくて、オーガニック、フェアトレード、プラントベース、アニマルウェルフェアなど、サステナブル基準10項目のうち、2つ以上を満たした出店者のみを厳選しました。

The 10 Sustainable Food Guidelines

Organic オーガニック	**Food Loss** フードロス削減	**Social Responsibility** 社会福祉	**Fair Trade** フェアトレード	**No Additives** 無添加
Plastic-Free プラスチックフリー	**Animal Welfare** アニマルウェルフェア	**Locally Sourced** 地産地消	**Plant-Based** プラントベース	**Sustainable Ingredients** サステナブル原料





SUSTAINABLE FOOD

フェス出店フード＆ドリンク





KURKKU FIELDS（千葉）

サステナブル項目：#オーガニック #地産地消

クルックフィールズでは、木更津で獣害として処分される猪や鹿の解体直後の新鮮な肉のみを使用したジビエフランクを提供しました。加工時に配合したリンゴモロミ、ドライフルーツ、ハーブなど、全て房総産の材料にこだわり、地域を盛り上げます。農業・食・アート・循環をテーマに、千葉県木更津の30haの広大な敷地で有機農業・養鶏・酪農を営み、土と水の循環を実践しています。宿泊施設を併設し、農場ならではの体験プログラムやイベントも開催しています。本州で唯一飼育している、水牛のミルクから作るモッツァレッラチーズや農場で採れた食材は、場内のレストランでいただける他、ソフトクリームやパン、スイーツとして楽しめます。

https://kurkkufields.jp



penta CRAFT NATURAL ENERGY（東京）

サステナブル項目:#プラントベース / ヴィーガン #フードロス削減 #プラスチックフリー

「penta」は、カフェインや人工甘味料、保存料を使わず、厳選した自然素材の効能を活かしたクラフトエナジードリンク。常にエナジードリンクを愛飲してきた代表自身が、健康への影響を省みて身体にやさしいものをという思いから開発しました。薬膳の発想に基づき、覚醒作用や集中力の向上、カフェインのような効果が期待できるガランガルを軸に、6種のスパイスとハーブを有機きび糖で煮詰めたシロップをベースにしています。容器も地球にやさしいリサイクル性の高いアルミ缶と瓶のみを使用しています。会場では、フェス限定ラベルの「SODA ORIGINAL + YUZU」を150本限定で販売しました。

https://penta-hme.com

SUSTAINABLE FOOD

フェス出店フード＆ドリンク





PIZZA GTALIA DA FILIPPO（東京）

サステナブル項目：#プラントベース / ヴィーガン #無添加 #サステナブル原料 #プラスチックフリー
#オーガニック #フードロス削減 #地産地消 #フェアトレード #アニマルウェルフェア #社会福祉

イタリアで体験したスローフードの考えのもと、地元・練馬の野菜、日本全国の本物の食材にこだわり、看板メニューのナポリピッツァをはじめイタリアの郷土料理を提供しています。食べることを通じて、背景にある生産者たちの熱い想いをつないでいます。フェスには、国産小麦生地の焼きたてピッツァ、経産牛のタリアータ、有機オニオンのローストなどを届けてくださいました。また、日本サステナブル・レストラン協会の一員として、土地の食材に新たな価値を与えることで地域社会経済をサポートするなど、美味しさの先にある人、土や地球環境といった「食の未来」のために様々な挑戦を続けています。

https://filippo.jp





Restaurant SAI 燊（山梨）

サステナブル項目：#無添加 #地産地消 #社会福祉

富士山麓の西湖の自然に育まれたジビエや山菜、高原野菜の深い味わいを薪火で引き出し、「奥・山梨料理」として昇華させるガストロノミーです。根底にある「生きとし生けるものをすべていただく」という思いから、フェス限定メニューでは、“食猟師”としてシェフ自らが捕った鹿を、肉はモルタデッラハムに、骨も無駄にせず出汁に使用しています。発酵させた白菜の漬物と西湖で獲れた魚の骨や内臓から作ったナンプラーを添え、体に優しい温かな麺料理のフォーに仕上げました。他には、鹿と小豆を赤ワインと一緒に煮込み、地産のグラスフェッドチーズをかけた、春の芽吹きをイメージしたキッシュも登場しました。

https://restaurant-sai.com

SUSTAINABLE FOOD

フェス出店フード＆ドリンク





REUNION（東京）

サステナブル項目：#プラントベース / ヴィーガン #無添加
#サステナブル原料 #社会福祉 #プラスチックフリー

環境再生型農業で育てた植物を原料に、鹿児島の老舗酒造「佐多宗二商店」が、醸造から蒸留、熟成まで手仕事で仕上げた「REISHI GIN,（霊芝ジン）」です。キーボタニカルには、国内原生林で採取した漢方の最上薬と称される幻のキノコ「霊芝」を使用しています。漬け込むことで効能の高い成分を抽出した特有の苦味とコク、山椒のスパイシーな味わいは、芋焼酎ベースのため寿司、焼き鳥といった和食をはじめ、さまざまな料理に寄り添う食中酒として最適です。ボトルには国内スピリッツ初となるリユースびんを採用し、地球にも身体にもやさしいウェルネススピリッツです。

https://re-union.world





SOYSCREAM!!!（神奈川）

サステナブル項目：#プラントベース / ヴィーガン
#無添加 #サステナブル原料 #プラスチックフリー

不耕起栽培の大豆を原料に、農家が作った環境再生型のオーガニックアイスクリームです。土を耕さない栽培農法は、微生物や生物多様性を回復させながら土中に炭素を留め、温暖化の緩和につながります。また、大豆は全国どこでも栽培しやすく、長期保存も可能な上、アイスクリームに加工することでフードロスも防げます。美味しく食べることで、不耕起栽培の畑や農家を増やす応援になり、人にも地球にもやさしい循環を生みます。さらに、おからと米粉のヴィーガン、グルテンフリーの手焼きコーンは、食べ終われば余計なごみも残りません。

https://ec.soyscream.jp

SUSTAINABLE FOOD

フェス出店フード＆ドリンク





UTSUNOMIYA BASE（栃木）

サステナブル項目：#プラントベース / ヴィーガン #無添加
#オーガニック #フードロス削減 #地産地消 #プラスチックフリー

栃木県宇都宮市を拠点とする「UTSUNOMIYA BASE」は、「楽しいを耕す」をテーマに活動する農業プロジェクトです。現役プロバスケットボール選手である代表をはじめ、元プロサッカー選手や、それぞれに本業を持つ仲間が集い、農業を通じた新たなコミュニティづくりに取り組んでいます。農薬・化学肥料を使わず、150種類以上の野菜や米「亀の尾」を自然栽培。収穫や調理を楽しむイベントの開催をはじめ、規格外野菜を活用したピクルスづくりやリユースびんプロジェクトなど、おいしい循環を育んでいます。

https://utsunomiya-base.com





もったいない食堂（神奈川）

サステナブル項目：#フードロス削減 #アニマルウェルフェア

神奈川県三浦市で営む、食べることが社会貢献につながるレストラン「もったいない食堂」です。地元・三浦産の規格外野菜や未利用魚など、市場に出回らず廃棄されてしまう食材を、おいしい定食へと生まれ変わらせています。今回は、近所の豆腐店で日々発生するおからと米粉を使ったベビーカステラや、フードロス寸前だった抹茶パウダーを使用したプラントベースの抹茶ラテを提供し、日常の「もったいない」をフェスならではの形で体験いただきました。

https://mottainai-shokudo.jp

SUSTAINABLE SHOP
フェス出店ショップ



環境省

一面に貼られたパネルから、今年90周年を迎えた富士箱根伊豆国立公園の歩みとともに、全国の国立公園の魅力をお伝えすることができました。同時に「環境特別広報大使」の柴咲コウが出演する「Sharing Trip」シリーズを上映しました。また、THE NORTH FACEの協力のもと、Tシャツのアップサイクルワークショップを開催。来場者が持参したTシャツやオフィシャルTシャツにフェスや国立公園のロゴをプリントし、新たな一枚へと生まれ変わらせました。会場では募金BOXを設置し、ご協力いただいた方へ富士箱根伊豆国立公園90周年記念トートバッグをプレゼント。お寄せいただいた募金は、富士山クラブを通じて自然環境の保全活動に活用されます。
https://www.env.go.jp

募金実績 募金総額：37,229円 / 郵送・現金書留実費：677円 / 寄付金額：36,552円（振込手数料を除く全額）
寄付先：富士山クラブ



浜松市

若き日の徳川家康公が天下統一の礎を築いた地、浜松。家康公が築城し、歴代城主の多くが幕府の要職へ出世したことから「出世城」と呼ばれる浜松城をはじめ、徳川四天王のひとり井伊直政を育てた女城主・井伊直虎ゆかりの地として知られています。近代では、旺盛なチャレンジ精神と起業意識の高い風土のもと、オートバイ・繊維・楽器といった産業が集積する「ものづくりの街」としても発展してきました。
会場では、自然、歴史、産業など、人がつないできたサステナブルな浜松の魅力をご紹介しました。また、浜松市のマスコットキャラクター「出世法師直虎ちゃん」も駆け付け、ステッカーを配布しながら会場を盛り上げました。

https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp

SUSTAINABLE SHOP

フェス出店ショップ



HUIS

世界に誇る日本の伝統織物の産地・遠州発のアパレルブランドとして、“日々の暮らしに馴染む上質な日常着”を提案しています。伝統ある遠州産の高品質な生地を使用し、シンプルながら加工や縫製など細部までこだわった、長く愛用できる定番アイテムを展開しています。現代では希少な「シャトル織機」で時間をかけて丁寧に織り上げられる遠州織物は、極上の肌触りに加え、丈夫で軽く、着るほどに風合いが増していきます。世界の高級ブランドにも採用される貴重な生地を、産地ならではの強みを生かして地域内で製造・流通することで、適正価格でお届けしています。HUISは、服づくりを通じて日本のものづくりの魅力を伝え、遠州織物の技術を次世代へ継承することを目指しています。

https://huis-onlinestore.com/



MES VACANCES

柴咲コウがディレクションを手がけるサステナビューティーファッションブランド。「旅するように暮らす」をブランドコンセプトに、どんな瞬間にも自分らしさを彩る、タイムレスで上質なファッションアイテムを展開しています。さまざまな社会課題を反映しながら、美しさと機能性を追求し、軽やかで洗練されたデザインを通じて「優美な循環」を目指しています。会場内ショップでは、3,000円以上ご購入いただいた方へ、植物性素材のみで仕上げたヴィーガンアイシングクッキーをプレゼントしました。

https://mesvacances.jp



EXPERIENCE DESIGN

コンサートツアーの椅子をチャリティオークション

柴咲コウの全国ライブツアー「KO SHIBASAKI LIVE TOUR 2025 ACTOR'S THE BEST ～邂逅～」全17公演で実際に使用されたステージチェアを、スポーツ・エンターテインメント公式オークションサービス「HATTRICK Auction」に出品しました。

ライブの時間をともに過ごし、ステージの熱気や歓声、感動の瞬間を見守ってきた椅子を、廃棄するのではなく新たな持ち主へ受け継ぐことで、その価値と物語を未来へつなぐ取り組みです。

オークションの売上金は全額、サステナビューティーフェスにおけるサステナブルな取り組み・運営費として活用。一度役目を終えた舞台備品を資源として循環させることで、フェスの理念である「楽しいから、はじめよう」を実践するアクションとなりました。

チャリティオークション結果
売上金額：938,253円
入札件数：247件

https://auction.hattrick.world/top/3429



CLOSE

SUSTAINABLE BEAUTY FES

【KO SHIBASAKI LIVE TOUR 2025 ACTOR'S THE BEST ～邂逅～】月（実使用・限定品）

2026年4月10日(金)12:00～2026年4月26日(日)22:40

現在	477,253 円
入札件数	128 件
残り日数	なし



CLOSE

SUSTAINABLE BEAUTY FES

【KO SHIBASAKI LIVE TOUR 2025 ACTOR'S THE BEST ～邂逅～】太陽（実使用・限定品）

2026年4月10日(金)12:00～2026年4月26日(日)22:35

現在	461,000 円
入札件数	119 件
残り日数	なし

EXPERIENCE DESIGN

リトリート体験ツアー

神秘の湖から富士山を五感で感じる一泊二日の、五感リトリート

サステナビューティーフェスでは、フェスの理念を体感していただくために、世界遺産・富士山の魅力を堪能し尽くす、1泊2日のラグジュアリーな五感リトリートをご用意しました。

神秘の西湖の南岸に位置する青木ヶ原樹海では、噴火を繰り返してきた富士山のエネルギーと、溶岩の上に命を宿した植物たちの生命力を感じるガイドウォークを実施。周辺を山々に囲まれた穏やかな西湖では、HOBIEによる水上体験を楽しみました。1日の締めくくりとなるRestaurant SAI 燊でのディナーでは、シェフ自ら採取するジビエやキノコ、山菜、高原野菜、淡水魚など、富士北麓の食材を使用し、「生きとし生けるものをすべていただく」という思想から生まれたガストロノミーが五感を揺さぶります。

A VILLAGEでの宿泊では、宿泊特典としてHOTEL THE KOのバスローブとオリジナルタオル、「HUMBLE BRUSH」の歯ブラシ、「Davids」の歯磨き粉、オーガニックスキンケアブランド「ORGAID」のアメニティをご提供。滞在中も、環境や身体に配慮したアイテムを通して、サステナブルなライフスタイルを体感いただきました。

https://saikonaturestay.com



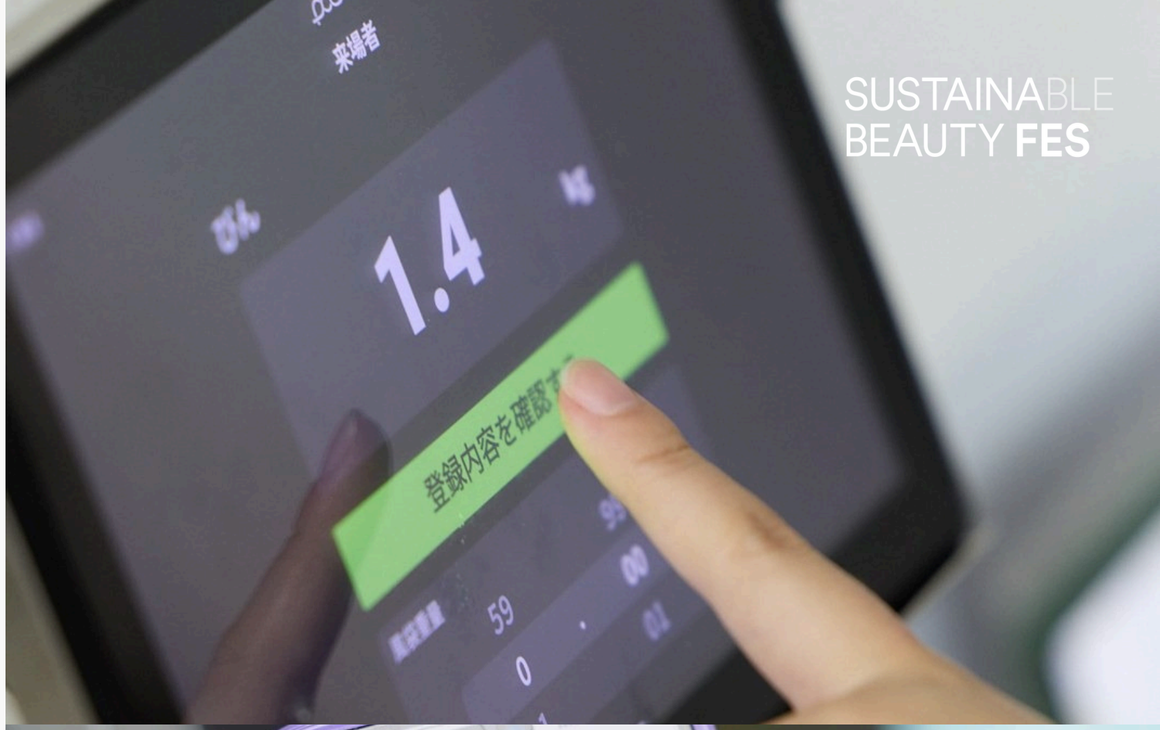




SUSTAINABLE IMPACT REPORT

SUSTAINABLE IMPACT REPORT

サステナブルインパクトレポート





資源循環とローウェイスト、カーボンオフセットと
環境への還元におけるサステナブルインパクトレポート

サステナビューティーフェスでは、会場で発生した資源・ごみを分別・計量し、その処理方法やリサイクル先まで可視化しました。

また今回は、来場者や関係者の移動、機材・資材の運搬、資源・ごみの処理を対象に、CO_2排出量を算定。フェス開催に伴う環境負荷を把握し、次回以降の削減策を検討するための基礎データとして記録しました。

ここからのページでは、資源循環とローウェイストの取り組み、今回計測できたCO_2排出量、カーボンオフセットによる環境への還元についてご紹介します。

資源循環とローウェイストにチャレンジ

サステナビューティーフェスでは、来場者だけでなく、出演アーティストやスタッフも含め、この場に集うすべての人が同じアクションに参加しました。それが、資源循環とローウェイストに貢献する10種類の分別エコステーションへの協力です。

会場内のフードエリアとバックステージにはエコステーションを設置し、発生した資源を10種類に分別・計測。来場者、アーティスト、スタッフが垣根を越えて同じアクションに参加し、一人ひとりが資源循環に貢献しました。この取り組みにより、イベント全体で環境負荷の低減を実現しています。

分別・計測したデータは、資源の循環を促すだけでなく、温室効果ガス排出量の把握にも活用。カーボン・オフセットの基礎データとして記録し、本レポートを通じてイベント運営における環境負荷の見える化を行いました。

10 Resource & Waste Sorting Categories

燃えるごみ	ペットボトル	ペットボトル キャップ	割り箸 木製カトラリー	紙資源 ダンボールなど
生ごみ	空き缶	空き瓶	リユース 食器	asanoha 食器

SUSTAINABLE IMPACT REPORT

ごみを出さないための取り組み

ごみを出さないための取り組み

サステナビューティーフェスでは、資源・ごみを計測する前に、
できる限りごみを出さないイベント設計を大切にしました。

フードコートではリユース食器とリユース箸を導入し、一部店舗
ではリサイクル可能なasanoha®の麻素材カップとお皿を採用。
さらに、ご来場者全員へリユース可能なアルミカップを配布し、
使い捨て容器の発生を大幅に削減しました。

イベント終了後も、電車の吊り広告やチラシの余剰分を「資源」
として回収し、リサイクル工場へ搬送するなど運営スタッフが一
丸となって、計測期間外に発生したものについても、可能な限り
リサイクルを実施しました。

次ページからは、ローウェイストと
資源循環の具体的な取り組みをご紹介します。









会場内のエコステーションで、可燃ごみと資源を10種類に分別。
品目ごとに計量し、処理方法とリサイクル先まで記録しました。

エコステーションは、共創パートナーである龍谷大学の学生ボランティアが、NPO法人iPledgeとともに運営を担当。

来場者とごみの「かけ橋」として分別方法や資源の行方を伝え、分別を単なる作業ではなく、一人ひとりが資源循環に参加する体験へとつなげました。学生たちの主体的な活動が、来場者とともにつくるローウェイストなフェス運営を支えました。



会場内の資源は事業者ごとに分別・計量。はかりと連動して
細かなデータをワンタッチで即時排出するRECOTECH社のpoolを採用。

来場者もアーティストもいっしょに
資源循環とローウェイストにチャレンジ

来場者、アーティスト、スタッフが同じ分別に参加。ごみを捨てるだけの場所ではなく、資源の行方を知り、一人ひとりが資源循環に参加できるエコステーションを目指しました。



会場内では、NPO法人iPledgeが運営する中、龍谷大学の学生ボランティアが参加。
アルミ缶を潰すことで運送にかかるエネルギーも大幅にカット。

龍谷大学
https://www.ryukoku.ac.jp

レコテック株式会社
https://recotech.co.jp

特定非営利活動法人 iPledge
https://www.ipledge.jp

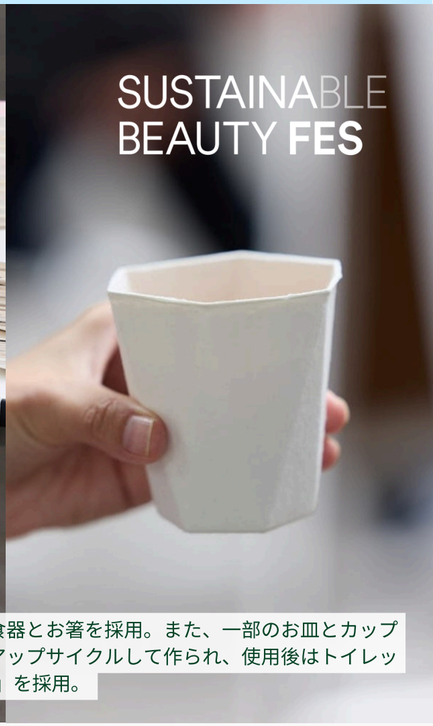




REUSE

株式会社UACJ提供のもと、来場者全員にサステナビューティーフェスロゴ入りのアルミカップを配布。場内でリユースできるようウォッシュスタンドを設置し、フェール・シュヴァルの99%植物由来の洗剤とシリコンスポンジを採用することで、マイクロプラスチックの流出も防ぎました。





特定非営利活動法人スペースふうのリユース食器とお箸を採用。また、一部のお皿とカップには、通常は廃棄される麻の茎「おがら」をアップサイクルして作られ、使用後はトイレットペーパーなどへリサイクルされる「asanoha」を採用。

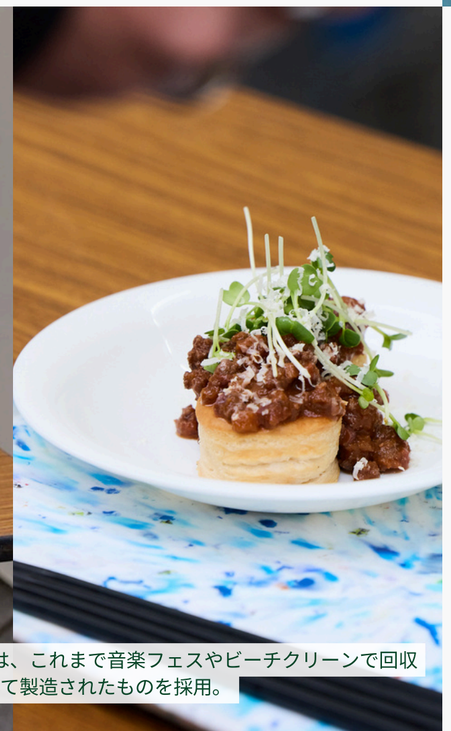
Fer à Cheval（フェール・シュヴァル）
https://feracheval japan.com

特定非営利活動法人 スペースふう
https://www.spacefuu.net

asanoha®
https://asanoha-hemp.jp

株式会社UACJ
https://www.uacj.co.jp





NPO法人iPledgeからレンタルしたトレーには、これまで音楽フェスやビーチクリーンで回収されたペットボトルキャップをリサイクルして製造されたものを採用。

REUSE & UPCYCLE

フードエリアでは、地元・山梨県のNPO法人スペースふうによるリユース食器とお箸を採用したほか、使用後にトイレットペーパーへリサイクルされるasanoha®のカップやお皿、NPO法人iPledgeが全国の音楽フェスやビーチクリーンで回収したペットボトルキャップをアップサイクルしたトレイを使用しました。

資源・ごみ分別集計サマリー

資源・ごみの計測には、RECOTECHの資源循環データプラットフォーム「pool」を採用しました。

計測の結果、総回収量283.4kgのうち 145.5kg（51.3%）を資源として循環させることができました。資源・ごみの処理に伴うCO_2排出量は0.07t-CO_2となりました。

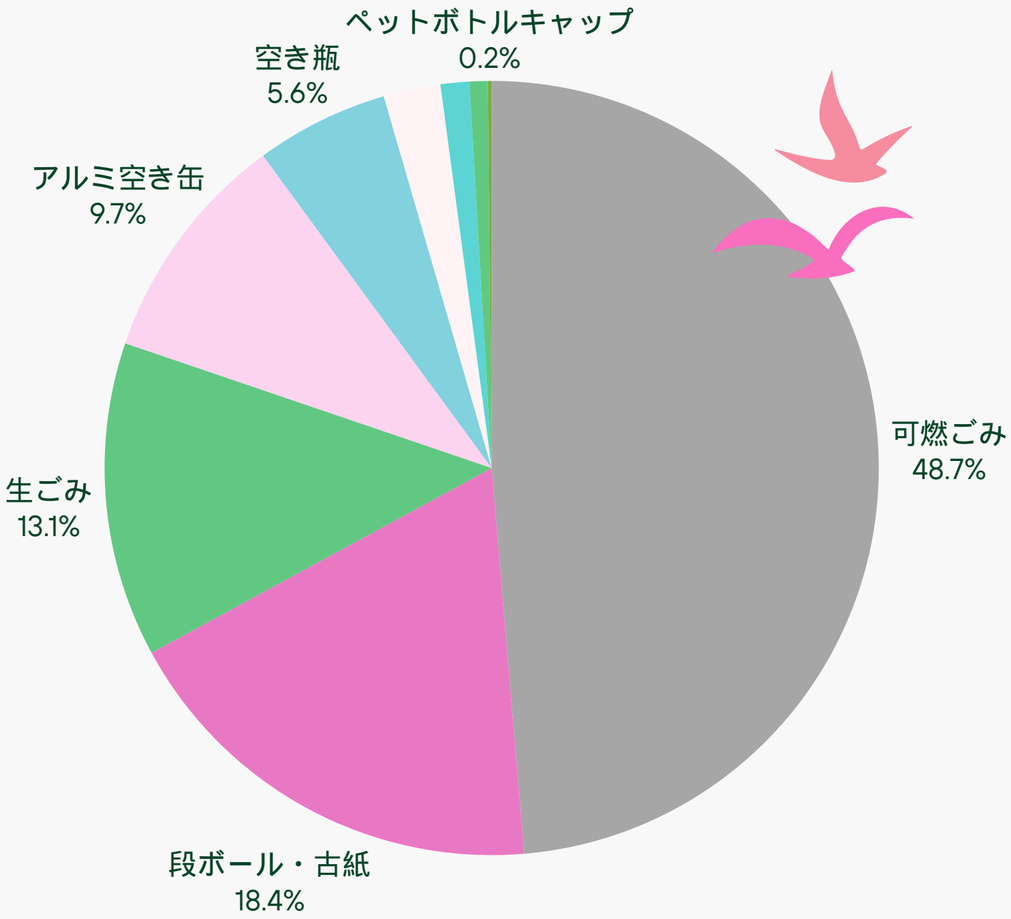
これは、来場者・アーティスト・スタッフの皆さまが分別にご協力くださったおかげです。一人ひとりのアクションが、多くの資源をリサイクルへつなぎ、焼却・最終処分量の抑制につながりました。

今回、発生した資源・ごみを可視化できたことも大きな成果です。このデータを活用し、今後も資源循環と環境負荷のさらなる低減に取り組んでいきます。

https://recotech.co.jp

総回収量：283.4kg
資源：145.5kg（51.3%）
可燃ごみ：137.9kg（48.7%）

資源品目名	重さ（kg）
可燃ごみ	137.9
段ボール・古紙	52.2
残渣（生ごみ）	37.25
アルミ空き缶	27.55
空き瓶	15.75
ペットボトル	6.75
紙食器（asanoha）	3.4
割り箸・木製スプーン	2.15
ペットボトルキャップ	0.45
リユース食器	0



数値で見るローウェイスト運営の成果

今回はリユース食器を採用したことで、使い捨てプラスチック食器を使用した場合と比較して、約13.8kg相当の可燃ごみを削減したと試算されます。また、フェスではペットボトル飲料の販売は行いませんでしたが、会場で回収したペットボトルとキャップは、通常の廃棄フローでは少量の場合、可燃ごみとして処理されるため、山梨県内でリサイクルに対応する事業者を独自に選定し、資源としてリサイクルを実施しました。さらに、生ごみについても通常は焼却処理されるため、園芸用堆肥へ再資源化する事業者へ回収を依頼し、資源として循環させました。

リユース食器の採用と資源循環を前提とした運営設計により、約58.3kgの可燃ごみを事前に削減できたと試算されます。もしリユース食器を使用せず、ペットボトルや生ごみも可燃ごみとして処理していた場合、可燃ごみは137.9kgから約196.2kgへ増加し、約1.4倍になっていた計算です。

このように、「ごみ」として処分するのではなく、可能な限り「資源」として循環させるローウェイスト運営を徹底した結果、総回収量283.4kgのうち145.5kg（51.3%）を資源として循環させることができました。

なお、本試算には計測対象外とした来場者向けリユースカップの削減効果は含まれていません。
リユースカップの使用による使い捨て容器の削減分を含めると、実際の可燃ごみ削減量は本試算を上回ると考えられます。

リユース食器使用実績（NPO法人スペースふう）

アイテム	レンタル数	使用数
R45カップ	50	**50個**
どんぶりM	500	**500個**
皿S（白）	700	**430枚**
皿M	200	**180枚**
箸	550	**350膳**
スプーン大	550	**450本**
合計	2550	**1,960点**

シングルユース製品を使用した場合の可燃ごみシミュレーション

アイテム	使用数	想定重量／個	ごみ重量
45mlカップ	50個	約2g	約0.1kg
どんぶりM	500個	約13g	約6.5kg
皿S	430枚	約8g	約3.4kg
皿M	180枚	約12g	約2.2kg
スプーン	450本	約3.5g	約1.6kg
合計	**1,610点**		**約13.8kg**

資源リサイクル先一覧

資源・ごみ品目名	重さ（kg）	処理方法	送り先	URL
可燃ごみ	**137.9**	焼却処分	富士吉田市 環境美化センター	https://www.city.fujiyoshida.yamanashi.jp/soshiki/21/
段ボール・古紙	**52.2**	再生紙の原料	株式会社環境社	https://www.eco-tamaru.co.jp
残渣（生ごみ）	**37.25**	園芸や農業用の堆肥にリサイクル	有限会社エコサイクルセンター 回収協力 /クロダ株式会社	https://www.ecocyclecenter.jp https://rc-kuroda.com/
アルミ空き缶	**27.55**	リユースアルミカップへリサイクル	UACJ 山一アルミ缶リサイクル株式会社	https://www.uacj.co.jp
空き瓶	**15.75**	リサイクルのためカレット化（破砕）	株式会社土手影建設 富士河口湖リサイクルプラント	https://dotekage.co.jp
ペットボトル	**6.75**	食品トレーへリサイクル	株式会社エフピコ	https://www.fpco.jp
asanoha®食器	**3.4**	トイレットペーパーへリサイクル	株式会社Kasuga	https://kasuga-paper.com
割り箸・木製スプーン	**2.15**	パーティクルボード（細かく砕いた木片を接着剤で固めて板状にした木質材料）	東京ボード工業株式会社	https://www.t-b-i.co.jp
ペットボトルキャップ	**0.45**	文具・日用品へリサイクル	エコキャップ推進協会	https://www.ecocap.or.jp
リユース食器	**0**	洗浄・再利用	特定非営利活動法人 スペースふう	https://www.spacefuu.net

SUSTAINABLE IMPACT REPORT

カーボンオフセットと環境への還元

公共交通機関との連携

来場者の移動は、イベント全体のCO_2排出量において大きな割合を占めます。サステナビューティーフェスでは、富士山麓電気鉄道株式会社、富士急トラベル/富士急バスと連携し、公共交通機関の利用を促進することで、移動に伴う環境負荷の低減に取り組みました。

総合プロデューサー・柴咲コウの「旅の時間も楽しんでもらいたい」という想いのもと、5月1日から24日まで、キービジュアルをモチーフにしたオリジナルヘッドマークや出演者ポスターを掲出したコラボ列車を運行。公演当日は特別列車を運行し、車内では柴咲コウによるオリジナルアナウンスを放送するなど、移動そのものがフェス体験となる企画を展開しました。

また、富士急トラベルと連携し、新宿・新横浜と河口湖ステラシアターを結ぶ直通アクセスバスを運行。乗車特典として今治タオルと再生アクリルチャームのオフィシャルグッズを配布し、公共交通機関を利用しやすい環境づくりを通じてCO_2排出量の削減を後押ししました。

https://www.fujikyu-travel.co.jp / https://www.fujikyu-railway.jp





SUSTAINABLE IMPACT REPORT

カーボンオフセットと環境への還元

Free Water Station - 来場者アンケートによる環境負荷の可視化

私たちは、自分たちが開催するフェスの環境負荷を、まず可視化することが重要だと考えています。

より精度の高い数値化のため、共創パートナーである龍谷大学の学生ボランティアが主体となり、入場口に設置した「Free Water Station」で来場者の皆さまを対象に交通手段に関するアンケートを実施しました。アンケートにご回答いただいた方へ、株式会社ジャスティスのご協力のもと、アルミ缶ミネラルウォーターをプレゼントしました。

得られたデータは、来場者の移動に伴うCO_2排出量（Scope 3）の算定に活用しました。

株式会社ジャスティスは、丹沢水系の天然水をリサイクルアルミ70%使用のアルミボトルに充填し、プラスチックフリー社会の実現に取り組んでいます。また、一般社団法人more treesの法人会員として、製品の売上の一部を国内の森林保全活動へ還元しています。

https://justice-jp.net/nmw





CO_2排出量算定結果

CO_2排出量算定サマリー

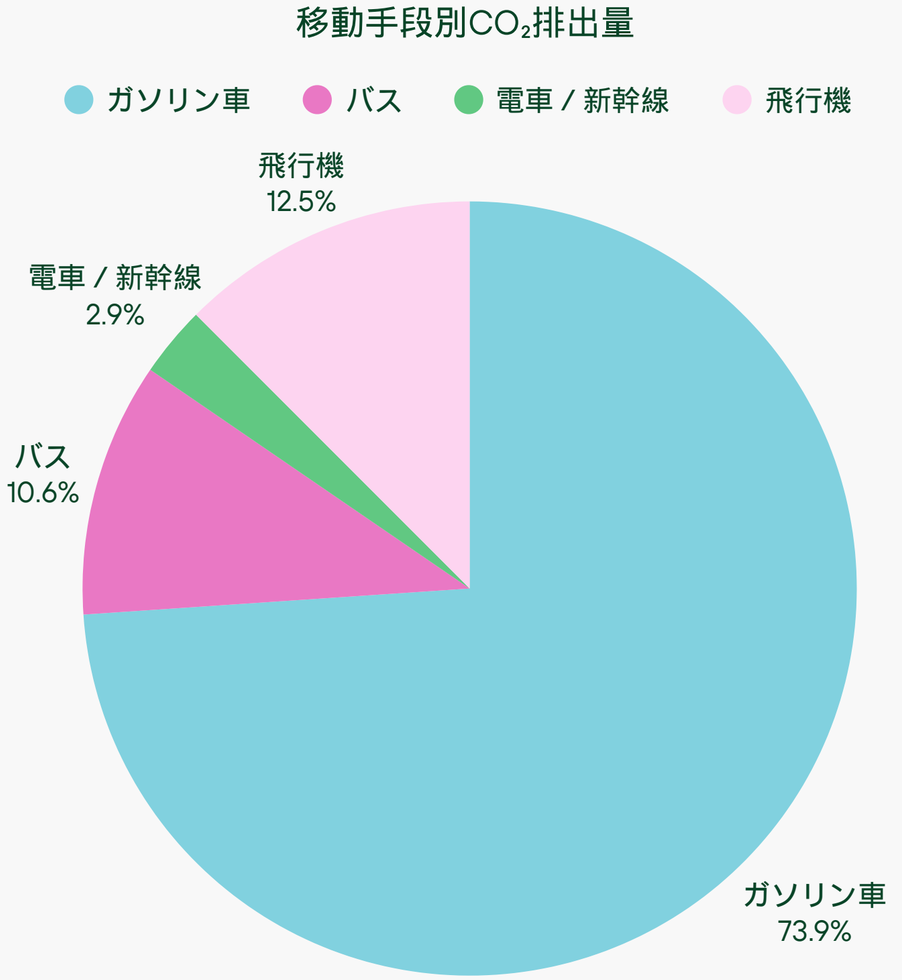
EVENT CARBON SIMULATOR協力のもと、フェス開催に伴う環境負荷を把握するため、来場者、アーティスト、運営スタッフにアンケートを実施。移動手段や移動距離、機材・資材の運搬に伴うCO_2排出量を算定しました。

今回は移動・輸送に対象を限定し、合計63,642kg-CO_2（63.642t-CO_2）を計測。排出源を可視化し、次回以降の削減策を検討するための基礎データを得ることができました。

今後は公共交通機関の利用促進や輸送の集約に加え、グッズや会場装飾、制作物の製造・調達に伴うCO_2排出量も、企画段階から計測工程に組み込むことが課題です。環境負荷の計測と削減をフェスづくりの前提とする、サステナビューティーフェスならではの新たなスタンダードの構築に挑戦していきます。

計測ツール提供元：EVENT CARBON SIMULATOR

移動手段	CO_2排出量（kg-CO_2）
ガソリン車	**47,049**
バス	**6,765**
電車／新幹線	**1,876**
飛行機	**7,952**
徒歩・自転車	**0**
合計	**63,642**



まとめ

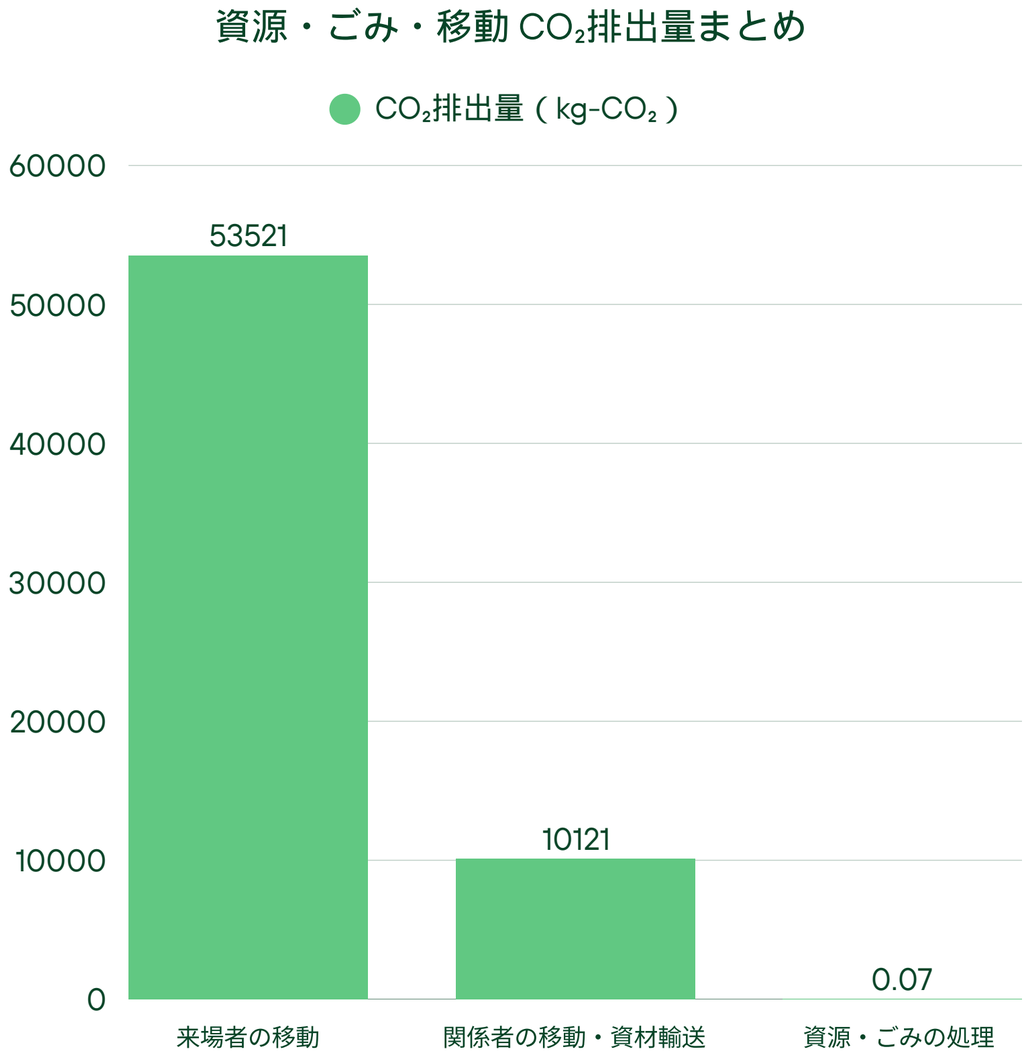
来場者の移動、アーティスト・運営スタッフの移動、機材・資材の運搬、資源・ごみの処理を合計すると、今回計測できた範囲のCO_2排出量は63.712t-CO_2となりました。次のページでは、今回の排出量をどのような取り組みによってオフセットしたのかをご紹介します。

カーボンオフセットとは

どうしても減らせなかったCO_2を、森を守る活動や自然の力でつくる電気など、別の場所でCO_2を減らしたり吸収したりする取り組みによって埋め合わせる仕組みです。

例えば、イベントで10トンのCO_2が出たとします。電車の利用やごみの削減によって7トンまで減らしても、残りの7トンをゼロにすることは簡単ではありません。そこで、森林を守ってCO_2を吸収する活動や、太陽光などで電気をつくりCO_2を減らす活動から、「7トン分のCO_2を減らした・吸収した」と認められたカーボンクレジットを購入します。

カーボンオフセットをしても、すでに排出したCO_2そのものがなくなるわけではありません。サステナビューティーフェスは「人は、地球と美しくなれる。」という想いのもと、排出量の把握と削減を優先し、フェスの継続性と経済性のバランスを図りながら、可能な範囲で環境負荷をカーボンオフセットしていきます。



SUSTAINABLE IMPACT REPORT

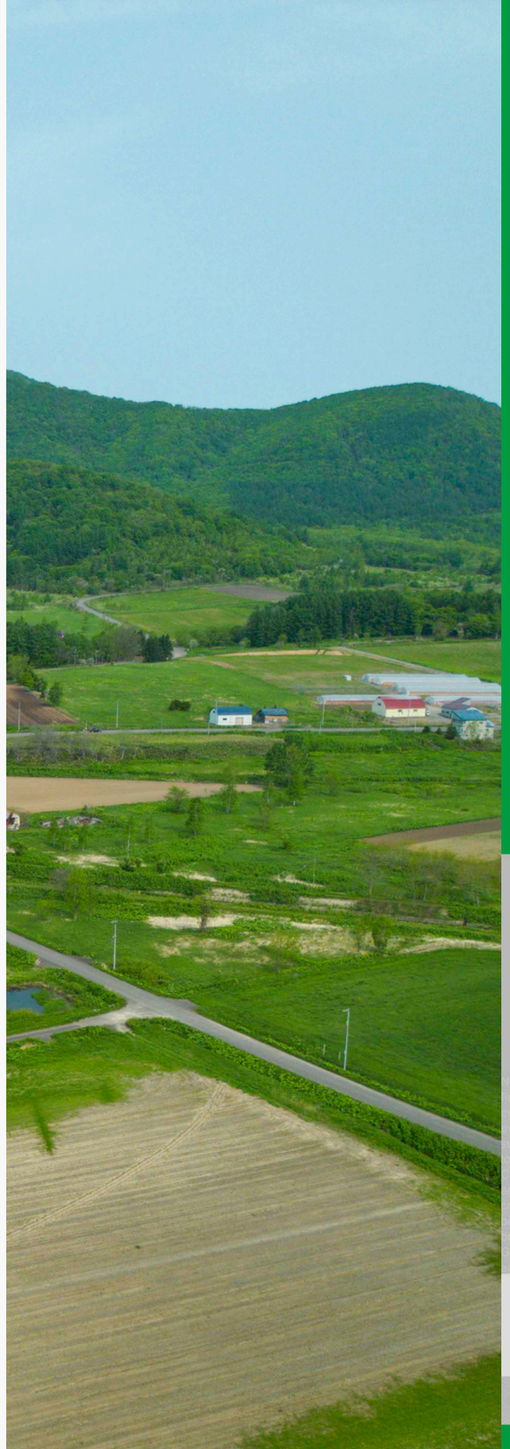
カーボンオフセット先のご紹介

オフセットクレジット先：
Next Green Credit（株式会社BG）

株式会社BGは、「つくる」と「食べる」の好循環を生む新たなフードシステムを実現する次世代の農業ベンチャーです。「Next Green Credit」は、同社が取り組む「つくる革命」の中で、温室効果ガスの排出削減・吸収量に加え、生物多様性や水・土壌など、農業が生み出す多面的な価値を評価・流通し、農家に還元する日本初の仕組みです。

サステナビューティーフェスでは、日本初となるサステナブルな農業由来の環境クレジットを活用し、53t-CO_2分をオフセットしました。この取り組みは、日本の農家を応援するとともに、生物多様性の保全や土壌・水質の改善にもつながります。いつか、このクレジットによって育まれた農作物を皆さんにお届けできる日を夢みています。

https://www.next-green.jp



Credit Offset Certificate

SUSTAINABLE BEAUTY FES 2026 様

下記の通り、農業由来の環境クレジット「Next Green Credit」を通じて、
カーボンオフセットを完了したことを証明します。

By offsetting a portion of its CO2 emissions with Next Green Credit,
SUSTAINABLE BEAUTY FES 2026 has supported highly sustainable soil building in agriculture, thereby contributing to the realization of local resource circulation, the conservation of the global environment, and a tasty and sustainable food culture.

Next Green Creditによる、SUSTAINABLE BEAUTY FES 2026から生じるCO2排出量の一部のオフセットを通じて、農業における持続性の高い土づくりを支援し、
地域の資源循環の実現と、地球環境の保全、そして、おいしく持続的な食文化に貢献しました。

Next GREEN Credit

reason for offset	SUSTAINABLE BEAUTY FES 2026の来場者の移動に関わるCO2排出量
reporting period	2026/5/23-2026/5/24
credit type	Next Green Credit
offset date	2026/9/30
credit ID	2025-0-2018-03-070 – 2025-0-2018-03-094 2025-0-2019-03-001 – 2025-0-2022-10-045
offset quantity	53t-CO2

本クレジットの環境価値

気候変動	生物多様性	植物資源消費量
53 t-CO2 改善	3.54 E-08 EINES 改善	4,187 kg-DW 改善
*杉の木3,786本が1年間に吸収するCO2量に相当	*蜜蜂10千匹分の保全効果に相当	*森林3,490m²が1年間に生産するバイオマス量に相当

水資源消費量	水質（全窒素排出量）	水質（全リン排出量）
892 m³ 改善	1,873 kg-N 改善	718 kg-P 改善
*25mプール2杯分の水資源に相当	*233世帯分の1年間の生活排水に含まれる窒素量（水質汚染要因）に相当	*597世帯分の1年間の生活排水に含まれるリン量（水質汚染要因）に相当

■ 気候変動 t-CO2：地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量を評価
■ 生物多様性 EINES：今後どれだけの生物種が失われる可能性に影響するかを評価
■ 植物資源消費量 kg-DW：植物が光合成により作り出す有機物量がどれだけ損なわれるかを評価
■ 水資源消費量 m³：資材の製造や農薬の希釈などで使った水の量を評価
■ 全窒素・全リン排出量 kg-N・kg-P：水質汚染の要因となる窒素及びリンの農地からの溶脱量を評価

株式会社BG
代表取締役
富松俊彦

T. Tomimatsu

date of issue
2026/11/9

SUSTAINABLE IMPACT REPORT

カーボンオフセット先のご紹介





オフセットクレジット先：みんな電力（株式会社UPDATER）

みんな電力は、再生可能エネルギー100％の電力を供給する小売電力サービスです。発電者の顔や想いが見える「顔の見える電力®」を提供し、電気をつくる人とつかう人をつなぐ取り組みを展開しています。

サステナビューティーフェスでは、会場運営の一部で使用するポータブル電源をみんな電力から借り受け、会場運営に活用しました。また、みんな電力を通じて、開催地である山梨県内の森林保全活動に資金が還元されるカーボンクレジット10t-CO_2分を購入し、イベント開催に伴って発生した温室効果ガス排出量の一部をオフセットしました。

https://www.updater.co.jp



MEDIA REPORT

メディア実績

サステナビューティーフェス2026は、公開収録を実施した「オールナイトニッポンGOLD」をはじめ、日本テレビ「news zero」、MBS／TBS系「日曜日の初耳学」、開催地・山梨放送など、多数のメディアで紹介されました。

さらに、全国のWebメディアにも幅広く掲載され、フェスのコンセプトや取り組みを広く発信。開催前から開催後まで継続的な露出を獲得し、「サステナビューティー」という新しい価値観を多くの方へ届ける機会となりました。

また、開催地・河口湖ステラシアター周辺では、地域の皆さまにもご協力いただき、コンビニエンスストアをはじめとする店舗や施設にポスターを掲出いただくなど、地域全体でフェスを応援してくださいました。メディアだけでなく、地元の皆さまとの連携によって開催を支えていただいたことも、本フェスの大きな支えとなりました。

＜テレビ＞
NHK甲府「NEWSかいドキ」 / NTV「news zero」 / TBS「THE TIME,」 /
テレビ朝日「グッド！モーニング」 / MBS・TBS系「日曜日の初耳学」 / 山梨放送（YBS）

＜ラジオ＞
オールナイトニッポンGOLD

＜新聞＞
山梨日日新聞朝刊 / 山梨新聞

＜ウェブメディア＞
30min. サンゼロミニッツ / @DIME / BARKS / BEST TiMES / BtoBプラットフォーム 業界チャネル / CREA WEB / eltha / Infoseekニュース / iza! / JBpress / Mapionニュース / NewsPicks / NIKKEI COMPASS / ORICON NEWS / PRESIDENT Online / RBB TODAY / SEOTOOLS / STRAIGHT PRESS / TBS NEWS DIG / TRAICY / ウレぴあ総研 / エキサイトニュース / エンタメラッシュ / おたくま経済新聞 / さんにちEye 山梨日日新聞電子版 / ジョルダンニュース！ / テレ東プラス / とれまがニュース / ニコニコニュース / ニフティニュース（@niftyニュース） / ハピママ* / ライブドアニュース / めざましmedia / 暮らしニスタ / 時事ドットコム / 産経ニュース / 財経新聞 / 朝日新聞デジタルマガジン＆[and] / 東洋経済オンライン / 現代ビジネス

テレビ: 6番組
ウェブメディア: 24媒体
ラジオ: 1番組
新聞：4記事

プレスリリース配信：全6本 延べ掲載回数：172回以上

MEDIA REPORT
メディアレポート

オールナイトニッポンGOLD（ニッポン放送）
放送日時：2026年5月29日（金）22:00〜24:00

サステナビューティーフェスのメインスポンサーである「アサヒ ゴールド」提供の特別番組「柴咲コウのオールナイトニッポンGOLD ～サステナビューティーRADIO～ supported by アサヒ ゴールド」を全国ネットで放送しました。

フェス会場では、ゲストにAIさんを迎えたサプライズ公開収録を実施し、ライブ音源や会場でのトーク、サステナブルブースの取り組みなどを収録。

さらに後日、ニッポン放送スタジオでフリーアナウンサー・八木早希さんとともに追加収録を行い、フェスの魅力や「サステナビューティー」の理念を全国のリスナーへ届けました。会場の臨場感とラジオならではの深いトークを組み合わせることで、フェスの世界観をより広く発信する機会となりました。

https://www.allnightnippon.com/gold/gold_blog/20260427-105269/



MEDIA REPORT
メディアレポート

news zero（日本テレビ）
放送日時：2026年6月3日（水）23:43頃〜／放送尺：約5分

日本テレビ「news zero」では、サステナビューティーフェスを約5分にわたり特集。「楽しみながらサステナブルを体験できる新しいフェス」という切り口で、柴咲コウへのインタビューをはじめ、音楽・食・ファッション・ワークショップを通じて環境や社会課題に触れられる会場の様子を紹介しました。

また、アップサイクルや資源循環、リユース食器の活用、環境に配慮したフードなど、フェス全体に組み込まれた取り組みも紹介。さらに、「楽しいから参加した結果、サステナブルにつながる」というフェスの考え方にも焦点を当て、来場者へのインタビューを交えながら、環境課題を身近に感じられる新しいイベントとして紹介されました。

【密着】柴咲コウがプロデュース “楽しいから、はじめる” サステナブルな音楽フェスとはnews zero 特集 映像を見る





SPONSORS

OFFICIAL SPONSORS
オフィシャルスポンサー

meiji
カカオ布をアップサイクルしたトートバッグ

オフィシャルグッズのトートバッグは、チョコレートの製造過程で出る「カカオハスク」で「のこり染」することで、優しい色合いに仕上げています。カカオハスクとは、カカオ豆の「皮」。チョコレートの製造過程で取り除かれ、飼料、肥料、燃料などに使用されるのが一般的で、カカオ豆全体のおよそ1割の重量を占めています。

こういった食品や植物を加工した後に出る「のこり」を活用した「のこり染」を施すことで、食物を余すことなく活用できることを身近に感じることができます。それはやがて、私たちが普段いただいている恵みがどこから来て、どのような環境で作られているのかを想像することへとつながります。その想像が行動に変わることで、豊かな地球を次世代へ残すことや美しい自然を取り戻すことに大きく関係しています。

https://www.meiji.co.jp/products/brand/cacaobeaute





CO-CREATE PARTNER
共創パートナー

龍谷大学
学生たちと作り上げる会場内資源循環

龍谷大学は、「浄土真宗の精神」を建学の精神とし、「龍谷大学サステナビリティ基本方針」のもと、人・社会・地球と共に持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進しています。

サステナビューティーフェスでは、龍谷大学を共創パートナーとして迎え、学生ボランティアがサステナブルなイベント運営の最前線に立ち、NPO iPledgeとともにエコステーションを運営。10種類の分別案内をはじめ、資源の計量や空き缶の圧縮を担い、「捨てる」を「資源にする」循環を現場から支えました。

また、入場口では、イベントの環境負荷を把握するため、来場者の交通手段に関するアンケートを実施。会場だけでなく、来場までを含めた環境負荷の可視化にも取り組みました。さらに、龍谷大学はサステナビリティインパクトレポートの作成にも参画。現場で収集したデータをもとに、フェスが生み出した環境・社会へのインパクトを可視化し、学術的な視点から持続可能なイベント運営を支えました。

https://www.ryukoku.ac.jp





サステナビューティーフェスの活動を終えて

政策学部 川添さん

参加前は、環境問題というと地球温暖化や海洋プラスチックごみなどの大きな課題を思い浮かべることが多く、自分一人の行動で何かが変わるのだろうかと感じることもありました。しかし、今回の活動を通して、サステナビリティは特別なことではなく、一人ひとりの身近な行動の積み重ねによって支えられていることを実感しました。

国際学部 柳さん

これからは、自宅や大学でのごみの分別を意識的に行いたいと思います。また、ごみそのものを減らすために、マイバッグやマイボトルを持参するなど、日常生活の中で実践していきたいです。さらに、大学生活の中で感じることや課題について友人同士で話し合ったり、気軽に参加できるボランティア活動に参加したいと考えています。

農学部 西村さん

今回の活動を通じて、普段であれば面倒だと感じてしまうような行動でも、「サステナビリティ」と「フェス」が組み合わさることで、楽しみながら取り組めることを実感しました。人の行動を変えるためには、正しさを伝えるだけでなく、自然と参加したくなるような仕組みや体験をつくることが大切だと感じました。



環境サステナビリティ学部 就任予定
担当教員 並木 州太朗

会場の中心で来場者と対話しながらアンケートや分別を案内する学生たちの姿は、教室では得られない学びそのものでした。「サステナビリティ」と「楽しさ」が両立する本フェスだからこそ、人が自然と参加したくなる体験が生まれていたと感じます。ここで蒔かれたサステナビリティの種が、学生や来場者一人ひとりの日常の中で芽吹き、より楽しく、より明るく、より良い未来をつくることにつながっていくことを楽しみにしています。

2027年4月、びわ湖大津キャンパスに
「環境サステナビリティ学部」を開設

さまざまな課題が複雑に絡み合った現代の環境問題。豊かな自然に守られながら、私たちの暮らしや社会を続けていくために、智と知を結集させ、解決へと導く人材を育成する。それが、龍谷大学環境サステナビリティ学部がめざす教育のあり方です。

リアルな自然環境に飛び込み、五感を活かした学びの原体験を創る。文理の枠を超え、従来の考えにとらわれない発想力や創造力を磨く。地域社会と連携し、産業・組織に変革を促すリーダーシップを育てる。人、自然、経済の関係を紡ぎ直し、共生のビジョンを描きながら、持続可能な地域、そして地球を、ともに創っていきます。

https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-18688.html



SPONSORS
スポンサー

OFFICIAL SPONSORS

アサヒ ゴールド

meiji

SPECIAL SUPPORTS

KAWAGUCHIKO STELLAR THEATER

山梨日日新聞社

YBS山梨放送

FM FUJI

CO-CREATE PARTNER

RYUKOKU UNIVERSITY

SUPPORTS

富士山麓電鐵

富士急トラベル

MS&AD あいおいニッセイ同和損保

asanoha®

UACJ
Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

THE NORTH FACE

Merry Go Round inc.

TSUBAME TOWEL

SPONSORS

SOYJOY ソイジョイ

JUSTICE

山梨から豊かな未来をきりひらく
山梨中央銀行

SAVONNERIE DEPUIS 1856
FER A CHEVAL
MARSEILLE

EVENT CARBON SIMULATOR

環境省

富士河口湖町



VOICES FROM EVERYONE

VOICES FROM EVERYONE

来場者アンケートより

SUSTAINABLE BEAUTY FES

“サステナビューティー”をもっと身近に感じられる時間になりました。「やらなきゃいけない」ではなく、まずは自分たちが楽しみながら、ワクワクしながら、自然にも人にも優しい持続可能な生き方ってなんだろう、と考えるきっかけになりました。自然の美しさや、生きていることの楽しさを改めて感じられて、本当に幸せな時間でした！！

シャトルバスも出していただき、お水や終演後のチョコなどのサービス等、ステージも素敵だった上に柴咲さんのフェスに対する想いを終始感じてとても楽しかったです。ありがとうございました。

初フェスでの参加ですが、アットホームで、自然に癒され、素晴らしい歌に酔いしれて、このような優しい雰囲気のLiveは初めてでとても素敵でした。いつもは推しのソロLiveだけだけど、FESもいいなって興味を持ちました。

ただ音楽を楽しむだけではなく、FOODもSHOPも合わせて楽しいのに、さらに地球にも優しいという、優しく楽しむフェスだなと感じながら1日を楽しむことができました！是非またの開催をお願いいたします！とても楽しかったです♪

1日目参加させていただきましたが、どのアーティストも本当に素敵で終始感動でした🥹✨　通常のフェスではゴミが大量に出てしまうのが当たり前ですが、アルミカップの再利用や舞台幕の循環など、楽しみながらもサステナブルな取り組みができるのがサステナビューティーフェスの素晴らしいところだと思いました🌿 これからも参加したいです☺️

本当に楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。初めて生でみたアーティストさんも新鮮で各ファンが他のアーティストさんをリスペクトしているように感じて暖かい気持ちになりました。こんなにゴミの少ないフェスはないのではないかな、と思いました。

VOICES FROM EVERYONE

来場者アンケートより

アーティストさん達の音楽への向き合い方に感動しました。とても充実した内容だったと思います。今後とも更に充実した形での方向に向かいこのフェスがより多くの方々に賛同してもらえるものになって欲しいと思います。

2日間とっても楽しい時間を過ごせました。
日常でサスティナブルを意識してなかったですが、マイタンブラーを使ったりと小さな事から楽しんで行けたら柴咲コウさんが大事にしている環境保護だったりに自分なりに貢献できれば嬉しいです。大切な機会ありがとうございました。

綺麗な空気と居心地が良い空間、そして色んなアーティストさん達の音楽に触れて最高に楽しかったです！

アルミカップの配布やゴミの分別（缶を自分で潰す）とかいろんな取組みをしていたのが良かったと思いました。私個人的にはもっと全面に出してもいいのかなって思います。 1日だけの参加でしたが楽しかったです！また次回がある事を期待してます。ありがとうございました。

SDGsについて詳しくはないが、そういう意識が高い人が楽しめたりするのではなく私のような人も普通に楽しめるフェスで良かった。フードもこだわりのメニューが多かったので価格が高いものが多いかと思ったけど、通常の価格で良かった。

SNSでも発信しましたが、本当に素晴らしく忘れられないフェスになりました。私自身フェスの参加が初めてでした。心から参加して良かったと思いました。トイレがめちゃくちゃ綺麗で安心してアサヒゴールドを飲めました！関係者・運営の皆様、そして柴咲コウプロデューサー、本当に熱く美しいエネルギーで溢れた空間をありがとうございました☻ またこの会場が良いです！2027も必ず参加します！！

SUSTAINABLE
BEAUTY **FES**



サステナビューティーフェス実行委員
CONTACT US : sbfes@l3g.jp

Sustainable Beauty Report 2026

Production: eleventh hour
Advisor: Ryukoku University
Editorial Support: LITTLE LIGHTS
Contributing Writers:
Yuka Sone Sato
Masumi Sasaki
Minami Fukamoto
Photography:Takanori Tsukiji
Yusuke Oyamada
Kaoru Yamada